

「ご縁に支えられて」

善光寺住職 黒田博志

こんにちは。ただいまご紹介いただきました

横浜市港南区日野中央にごぞいます善光寺の住職を務めさせていただいております。昨年に引き続き方丈様より「話をせよ」と命を受けましたので皆様の貴重なお時間をお借りしてお話しさせていただきます。

方丈様より「今年は施食会の話の話をせよ」と課題を頂きました。

施食会とは本日皆様と共に勤め致します法要の事です。

本日お勤めを致します法要は大きく分けて二

つの供養からなります。

最初の法要は、「本尊上供」と申しまして、当山方丈様が本堂の正面に向かひまして「般若心経」をお勤めし、ご本尊であるお釈迦さま、福井の永平寺を開かれた道元禪師さま、鶴見の總持寺を開かれた瑩山禪師さまに本日をお迎えしたことをご報告する法要でございます。

そのお勤めが終わりますと方丈様は南に向きを変え、二つ目の法要、「施食会」をお勤め致します。

施食会とは別名「無遮会」と申しまして「遮



ること無し」と書きます。また「水陸勝会」とも言い、水と陸、つまりこの地球上で最も勝れた供養といわれます。この法要は隔たりなく、一切合切すべてのもの、さらに永い間供養されることのなかったすべてのものに対して供養する法要です。

本堂南面には施食棚がございますが、そちらの中央には「三界萬霊」のお位牌がお祀りされています。このお位牌は、一切合切過去現在未来永劫すべての精霊を示しております。ご縁の有る無しに関わらず、すべての諸精霊に等しく供養するという願いが込められています。

その他にも本年初盆を迎えられる精霊のお位牌、当院の檀信徒皆様のご先祖様のお位牌、天災地変横死者諸精霊のお位牌、……これは自然災害でお亡くなりになられた方々に対して供養するためのお位牌です。国難各役戦死病没者諸英霊のお位牌。……これは戦争でお亡くなりにな

なられた方々に対して供養するお位牌です。

更に施食棚の後方には色とりどりの旗があります。これは「真旗しんはた」と申しまして、この旗にやどる諸仏諸菩薩さまのもと、ありとあらゆる精霊にお集りいただき、ご供養申し上げますのです。

普段のご法事、回忌法要はご自分の近しい仏さまに対しての供養ですが、この施食法要は、ご自分の近い仏さま、ご先祖様だけでなく、今現在、直接に自分との縁が有る無しに関わらずにすべての精霊、生きとし生けるすべての命に対してご供養申し上げるという在り方が施食会の供養です。

では、なぜこの供養を行うのか？

私たちは意識する、しないに関わらずに様々な縁に生かされています。そのことに思いを巡らすことが大事なのです。

私ごとになりますが、昨年八月の終わりに声帯を傷め、約一か月間声を出すことが出来なくなりました。原因は声帯にできたポリープでしたが、気づかず、そのうちに炎症を起こし内出血していました。最初は声がかすれるなあと思いつつも風邪だと思い風邪薬を飲んでいました。でも毎日お経を務めるたびにどんどん声が出づらくなり、しまいには全く声が出なくなっていました。そこで病院に行き診察を受けてみると、声帯にポリープができて、内出血している。内出血を抑えるためには声を出してはダメですと言われました。

それからひと月、『無言の行』です。

いい経験をさせていただきました。その間、ご縁の皆様にお励まされ、助けられ、支えられて過ごしておりました。

改めて自分はいろいろな方々に支えられて生かされているのだと感ずることが出来ました。

当たり前のことが当たり前に出来ることは、ありがたいこと。当たり前のように声を出せることのありがたさにも気づかされました。健康であることのありがたさに気づかされました。

でも初めからそのような気持ちになれたわけではありませんでした。声を出すことが出来ませんので、自分の思いを伝えることができない不甲斐なさや、はがゆさを感じる日々でした。なんでこんなことになってしまったのか？ 後悔と反省の日々でもありました。さらに九月はお彼岸でございますので、焦りや不安や心配の中で日々を過ごしております。ご縁の方々が励ましのお言葉をかけてくださるのですが、そのお言葉を素直に受け入れることが出来ませんでした。

そんな中、あるお檀家様よりこんな励ましの言葉をいただきました。

「方丈さんが声が出ないと聞き、ガンジーを

思い出しました。ガンジーは一週間の一日だけ声を出さない日を設けて過ごしていたと本で読みました。方丈さんもいつもよくお話しされてるので、仏さまが少し休みなさいということなのでしょね」。

その時の私には本当にありがたく身にしみるお言葉でした。

それまでは私はこの声帯を傷めた縁というのは、悪縁、悪い縁だととらえておりました。しかしこのお言葉をいただいて、実はこの縁はわたしにとって様々なことを気づかせてくださるありがたい「善縁」……いい縁だったんだと思えることが出来ました。そう気づいた瞬間からとても気持ちが楽になりました。

病気を善縁として受け止められてから様々な人の言葉が鮮明に聞こえる様になりました。いまままで頂いたお言葉は皆様が私を思ってお掛け頂いていたお言葉だったんだと気づかされまし

た。素直に受け止められなかった励ましの言葉がそのまま心にスーッと入ってきました。

皆様に支えられ、助けられ、救われているんだなあと感じました。

その後、今年の五月にポリープ除去の手術をして完治に至りました。手術に関しても先生方や看護師の皆様のおかげ、更に医療技術の進歩は先人たちの智慧のおかげでございます。私は全身麻酔でただ寝ている間に全て終わっていました。ありがたいことです。

目に見えるご縁はもちろんのこと、目に見えない多くのご縁のおかげで今があります。

これから勤める施食会とは有縁無縁、一切合切の諸精霊に対して感謝報恩の誠を尽くす供養です。自分のご先祖様だけでなく、すべての方々に平等に供養する。生きとし生けるものすべての方が幸せでありますようにと念じて勤め

る法要です。

皆様のご先祖様、十代^{さかのほ}遡れば、千人を超え、二十代遡れば百万人を超え、三十代遡れば十億人を超すといわれます。そのご先祖様もその時代その時代に多くのご縁に支えられ生き抜いてこれ、我々に命をつないでくださった。戦争の時代もありました。今とは比べようもなく不自由な時代もありました。その時々を生き抜いて命を繋いでくださった。今、生かされている私も日々多くの縁によって支えられています。人知では計り知ることの出来ないほどの目に見えない無限の縁によって成り立っております。今この場で話をしているこの私ですが、これは両親の縁、ご先祖様の縁、兄弟、家族、先輩、後輩、友人諸々の縁、龍長院様とのご縁、そして話を聞いて下さっている皆様とのご縁があったことです。

こちらまでは車を運転して参りました。その

車も多くの方々の手によって作られたものです。海外で作られた部分もちろんあるでしょう。そしてきれいに整備された道路を走って参りました。その道路も多くの方々によって出来上がったものです。言い出せばきりがありませんが、目に見える、目に見えない無限のご縁が和合して今この場にあります。

そのすべてに感謝報恩の誠を尽くすことがこれよりのご法要でございます。

皆様方におかれましても、ご自分の近しい仏様、ご先祖様だけでなく、有縁無縁の諸精霊さらには生きとし生けるものすべてに對して幸せでありますようにと願いをこめてお勤め下さい。

これよりのご法要、心ひとつにしてお参り致しますよう。

皆様のお幸せを心より念じまして本日のお話とさせていただきます。

